事　　業　　報　　告

（１）新市名称募集状況について

（２）新市まちづくり計画策定に係る住民アンケート調査について

（３）新市まちづくり計画策定委員会について

〈事業報告〉

（1）新市名称募集状況について

新市名称候補選定小委員会の会議結果に基づき、新市名称候補の公募を開始いたしましたので、本日までの状況について次のとおり報告します。

○応 募 用 紙 配 布 方 法：各市町区長に依頼し全家庭へ配布。

○応　　募　　期　　間：平成１５年７月１５日から平成１５年８月２０日まで

○周　　知　　方　　法：報道機関へ記事提供。各市町広報誌へ掲載依頼

○専 用 応 募 箱 設 置 状 況：１市４町公共機関に５０箇所設置

○７月２９日現在応募状況：５５４通

（2）新市まちづくり計画策定に係る住民アンケート調査について

新市まちづくり計画策定のための資料とするために実施いたしました住民アンケートの回収状況について次のとおり報告します。

○調査方法：郵送による発送及び回収

○調査期間：平成１５年６月１３日～６月３０日

		発送数	回収数	回収率
一　般		11,762 名	4,907 名	41.72%
（内訳）	八日市市	2,593 名	902 名	34.79%
	永源寺町	2,223 名	984 名	44.26%
	五個荘町	2,405 名	1,025 名	42.62%
	愛東町	2,198 名	1,032 名	46.95%
	湖東町	2,343 名	901 名	38.45%
			（不明 63 名）	

		発送数	回収数	回収率
中学生		878 名	281 名	32.00%
（内訳）	八日市市	493 名	121 名	24.54%
	永源寺町	63 名	27 名	42.86%
	五個荘町	128 名	51 名	39.84%
	愛東町	79 名	43 名	54.43%
	湖東町	115 名	39 名	33.91%

（３）新市まちづくり計画策定委員会について

１．新市まちづくり計画策定委員会委員選出

新市まちづくり計画策定委員会委員について次のとおり選考の上、委嘱いたしました。
〇策定委員･･･次のとおり

１号委員（協議会委員）　１０名

市　町　名	氏　　名	市　町　名	氏　　名
八日市市	髙村　与吉	愛東町	上川　裕子
	田中　敏彦		川副　清厚
永源寺町	吉澤　克美	湖東町	清水　重一
	飯尾　文右衛門		野村　・一
五個荘町	杉山　忠蔵		
	足立　進		

２号委員（識見を有する者）　２名

所　属	氏　　名	所　属	氏　　名
滋賀文化短期大学 生活文化学科 助教授	谷口　浩志	特定非営利法人ひとまち 政策研究所 常務理事	西川　実佐子

３号委員（公募による合併関係市町の住民）　１８名

市　町　名	氏　　名	市　町　名	氏　　名
八日市市	小菅　史郎	五個荘町	山本　まき子
	村田　義則		福本　克己
	田中　義晴		田中　寿昭
	池田　芳子	愛東町	花本　雅弘
	山田　幸平		村山　光
永源寺町	福井　均		西澤　正子
	久田　光孝	湖東町	上原　司
	松吉　義彦		楠亀　弘子
	田中　進		瓦﨑　雅彦

〇公募委員（３号委員）の選出

募集期間　５月３０日～６月２３日
応募状況　４６名（内訳：八日市市 22 名・永源寺町６名
五個荘町 10 名・愛東町３名、湖東町５名）
選考方法　１次選考（書類審査）６月２６日
２次選考（抽選会）　６月３０日 18:30～19:00

２．新市まちづくり計画策定委員会状況報告(委員長より報告)

（１）第１回策定委員会

開催日時：平成１５年７月１２日（土）14:00～17:50
会　　場：八日市市役所別館　大ホール他
主な内容：つぎのとおり　　参加者２９名

・副会長（宮部湖東町長）から委嘱状交付
・委員長、副委員長の選任

委 員 長：飯　尾　文右衛門　（協議会委員）
副委員長：上　川　裕　子　　（協議会委員）
副委員長：谷　口　浩　志　　（学識経験者）

・意見交換

４班(１班７名)に分けたグループ別に意見交換、全体会でグループ別に報告を行いました。意見交換の主な内容は別紙のとおりです。

（２）タウンウォッチング

新市まちづくり計画を検討する上で、１市４町の現状を知るため、各市町の主要施設や資源等を学ぶ見学会を２回に分けて実施しました。（１日で全市町を巡る同一行程で実施）

日　程：７月１９日（土）8:20～17:00
　　７月２５日（金）8:20～17:00　　参加委員数　１８名
主な視察先：八日市市･･･大凧会館、布引運動公園、蛇砂川（新川･現川）
永源寺町･･･産業会館、杠葉尾、蛭谷、政所支所、図書館
五個荘町･･･てんびんの里、伝統建造物保存地区金堂、繖公園
愛 東 町･･･ﾏｰｶﾞﾚｯﾄｽﾃｰｼｮﾝ、おくのの運動公園、福祉センター
湖 東 町･･･探検の殿堂、ＫＣＮ局、読合堂郷づくり　　他

（３）第２回策定委員会

開催日時：平成１５年７月３０日（水）午後７時～午後９時３０分
会　　場：愛東町総合福祉センターじゅぴあ　会議室･研修室他
主な内容：つぎのとおり　　参加者２８名

・第１回策定委員会およびタウンウォッチングの報告
・意見交換

第１回での意見を分野別に分類し、グループ別でさらに議論を深めました。意見交換の主な内容等は次回協議会で報告の予定です。

第１回新市まちづくり計画策定委員会　グループ別意見交換まとめ

これからのまちづくりの基本的な考え方	新しいまちのイメージ
《まちづくりの基本的スタンス》 ・ 100 年の計であるべき姿を語り合おう（前提条件） ・ ちゃちなまちづくりでなく、大きな視野で戦略的なまちづくりを ・ 住民主体のまちづくり ・ 住民参加が大切 ・ 新市のまちづくりは、与えられたものでなく自分たちが参加して作るという気持ちをもってもらうことが大切 ・ 地域を愛し育てる心と行動（教育）で地域を活性化 ・ 共通の認識を持ってまちづくりを考えていく **《地域特性》** ・ 自然の環境を最大限生かしたまちづくり ・ 地元の歴史・文化を育てるまちづくり **《現１市４町、地域性を活かす》** ・ それぞれ現市町の歴史・文化を重きにしたまちづくり ・ それぞれの地域の特色、特産物を掘り起こし残す ・ 各市町村の持つ特色や伝統を守り育てたい。 ・ 特色のある町。１市４町の良い点を活かす。 ・ １市４町の個々のまちの特徴・特色を活かす。 ・ １市４町の財産を、新しいまちとして生かしていくことが大切 ・ 今までの各まちの長所を生かし、規模を拡大する。 ・ 旧の市、町の意識を出来るだけ早く払拭させる手だてが必要 **《具体的な目標》** ・ 住みたい町ランキングにはいるまちづくり ・ 同じ町の人を信じ合える人口 10 万位の都市をまず建設していく ・ 過疎化に歯止めができるまちづくり **《主要テーマ》** ・ 住民参加のまちづくり ・ 歴史、自然を大切にした田園都市建設 ・ 自然の保全 ・ 愛知川を核にしたまちづくり ・ 地域の特色を生かしたまちづくり ・ 地域の交通手段の整備 ・ 安全で安心のまちづくり ・ 地産地消	**《人づくり・文化》** ・ 未来を創造する子どもを育てるまちづくり ・ あいさつが飛び交うまちづくり ・ 連帯感のあるまち ・ 老人の残してくれた精神を受け継ぐ ・ 音楽堂 **《環境》** ・ 環境先進都市 ・ 自然に価値と創造を見いだすまちづくり ・ 周囲を山に囲まれた自然豊かなまち ・ 都会化するのでなく、環境にこだわったまちづくり **《生活・福祉》** ・ 老人、子どもが安心して暮らせるまち ・ 子どもをたくさん産め、育てられる環境づくり。（少子化に歯止め） ・ 心豊かなまちづくり ・ 安心して年をとれるまち。（高齢化対策） ・ 身近な福祉体制の充実 ・ 少子高齢化社会が進むなかで、社会変化に対応できるまち ・ 高齢者が生き生き暮らせるまちづくり **《都市構造》** ・ 地域の特色を活かしたエリア別まちづくり（産業、工業、文化、農業） ・ 八日市のまちを中心ににぎわいを求めたい ・ エリアの区分（生活行動ごとの） ・ 大胆な都市計画 ・ まちの真ん中を走る道 ・ 愛知川堤防の道 ・ 五つのまちを結ぶ５つの橋 ・ 新しい施設を作るなら既存の公園等の中に（複合的に） ・ まちの真ん中を流れる愛知川。いこいの川にしたい。 ・ 休息・いやしのまちゾーンの設置 ・ いやしゾーン（福祉ゾーン） **《交流・観光》** ・ 自分のまち（地域、文化）を大切にする ・ 観光都市として（エコツーリズム）の発展 ・ “ 愛 ” のまち交流。形は違っても継続していきたい。（愛のつく町との交流） **《産業・経済》** ・ 個性的な中小企業が発展するまち ・ 地産地消を進めたい ・ 規制緩和 ・ 工場誘致 ・ フルーツランド（各地域に） ・ リサイクルランド

分　野	分野別のまちづくりの方向性	具体的なまちづくり方策
地域文化・ コミュニティ関連	**《歴史・文化》** ・　文化のある町 ・　歴史と文化を大切にしたまちづくり **《コミュニティ・自治》** ・　住民全員がまちづくりに取り組むまち ・　どの分野においてもまちのビジョンを住民が理解しているまち ・　「住民がまちを動かしている」といったまち ・　住民も結果責任を取っていかないといけない **《地域間交流》** ・　１市４町の心のつながりを優先 ○ 住民と行政が乖離している。合併でさらに強まる。 ○ 市民の無関心 ○ 市民参加と言うが無関心の人たちをどのように引き寄せていくか ○ 地域で良い活動している場合があっても支援がない ○ 現在の各町の所在を考えると行政広域の取り組みは（現在の広域行政の管内が異なる）	・ 歴史的遺産のネットワーク化 ・ 歴史遺産を全部残したい ・ 地域のプラス面をさらに発展させる支援 ・ 住民の発想が行政に反映できる仕組みづくり ・ 地域のマイナス面を逆に活かしたまちづくり ・ 地域差のある協議費の位置づけ、使い方のラインを統一する ・ それぞれの地域のイベント、行事に住民同士が参加、協力しあう ・ それぞれの学校同士の交流を行う
環境・生活関連	**《自然環境》** ・ 自然を大切に環境を守るまち ・ 美しい自然環境を守りたい **《緑・水》** ・　１市４町の中心的な場所に花いっぱい、緑いっぱいの公園を作る ・ 水（小川）のあるまち ○ 道路と道路の間のスペースが草で埋まってるところがよく目につく。何とか工夫をしたい **《安全・安心》** ・ 安全・安心のまち ・ 教育の釣り合いについて、詰め込み型、点取り型はダメ。心を大切にする **《生活環境》** ・ 新市まちづくりはゴミを道路に捨てないまち ○ 不法投棄が多いのでなんとか良い方法がないものか	・ 愛知川の自然を生かす、中心の身近ないこいの場所にしたい ・ 愛知川を一年中水の流れる川にしたい ・
土地利用・ 都市基盤関連	**《交通》** ・ 交通アクセスの充実 ・ 道路行政の充実 ・ 連帯感。交通が便利になるようにする（交通機関、道路） ○ 交通の便が悪い **《情報》** ・ 高度情報化。高齢化社会に向けての通信 ・ 情報のネットワークづくり（有線 TV） **《土地利用》** ・　１市３町の面積より大きい永源寺の土地利用 **《地域活力》** ・　１市４町の財産を、新しいまちとして生かしていくことが大切 ・　旧の市、町の意識を出来るだけ早く払拭させる手だてが必要	・ 近江鉄道とＪＲの相互乗り入れ ・ 広域農道の延長。青野－小倉－平尾。紅葉橋と春日橋の中間に新橋を作り愛東との農業交流。 ・ 愛知川にもう一本橋を作りたい ・ ＪＲと他の交通機関の接合の見通しはどうか。１市４町地域にとりＪＲを身近なものにしたい ・ 交通網の整備　R421 トンネル ・ 三重県への道が完成する…。観光のまち（静かな） ・ 情報ネットワークの早期確立で新市への体制と意識づくりを ・ 平面のまちづくり（一戸 100 坪以上） ・ 公共施設、教育施設の思い切った統廃合をまず整理して、隣村的な感覚を早く取り除く

分　野	分野別のまちづくりの方向性	具体的なまちづくり方策
健康・福祉関連	**《高齢者福祉》** ・ 福祉介護施設 ・ 高齢者が移動できる方法 ・ 高齢者にやさしいまち **《子育て》** ・ 安心してこどもが遊べる ・ こどもが多く集まる場所を作る ・ 地域社会での子育ての充実。地域住民同士。保育所、幼稚園等 ○ 湖東には学童保育がない **《健康》**	・ 老人のいこいの場所の施設 ・ 老人のスポーツ施設。グランドゴルフの出来る ・ 老人の健康について中高齢の方も参加していただけるよう推進する（スポーツ活動） ・ 周回バスの運行 ・ 学童保育 ・ 保育所の充実 ・ 市民病院がほしい
産業関連	**《就労の場》** ・ 遠くへ行かなくても働けるところがあること ・ 若年者の雇用の充実。人材流失を防ぐ ・ 八日市インターチェンジ近くを中心とした経済発展。雇用の確保 ○ 老人が働ける場所が近くにない **《農業》** ・ 農産物の地域内消費の拡大 ・ 商工業、農業一体化のまちづくり ・ 地域の名産を活かせる、大事にするまちづくり **《観光》** ・ 観光施策で連帯感のあるまちづくり ・ 今ある自然資源を壊さない形で観光に取り入れる ・ 豊かな自然をＰＲした観光面も力を入れたらと思う。 ○ 観光ＰＲがヘタ **《産業育成》** ・ 産業育成。他府県からも注目され、人を集められるまち ・ 文化、歴史を理解し共有できる事業を早急に発掘する	・ 新市に企業、会社を誘致する ・ 高齢者の職場づくり ・ 農地の有効利用→減反政策などの変化 ・ 新市内での農耕者確保 ・ ブランド米、こだわり米、うまい米 ・ 人を集める観光施設 ・ 各町の歴史を活かした歴史ゾーン（コース）の作成　（県外へのアピール） ・ 専門教育機関の設置。起業機会の増加
教育・人権関連	**《教育》** ・ 将来を夢みる青少年が地域で生き生きと暮らせるまちづくり ・ 親育てが出来ていない ・ 挑戦する意欲を引き出す教育 ・ 人づくりは大切 **《男女共同参画》**	・ 図書館を一つにつないで欲しい ・ 総合大学をぜひ市に ・ 四年制大学のある町 ・ 女性の働く環境を作る